

- CentOS5のインストール後の設定 (1)
 - ファイアウォール (1)
 - SELinux (1)
 - Kdump (1)
 - ユーザの作成 (1)
 - グラフィックカードの設定 (1)
 - パッケージの更新 (2)

CentOS5のインストール後の設定

GUIの画面が起動する。初回起動設定が開始される。

▲ ▼

ファイアウォール

研究室内サーバの用途なので、ファイアウォールは無効に設定。あとで設定しなおすこともできる。

▲ ▼

SELinux

セキュリティ拡張Linuxの設定。こちらも無効に設定。

▲ ▼

Kdump

カーネルクラッシュダンプのメカニズム。メモリを4GB搭載しているので、気休めに有効にしておく。

▲ ▼

ユーザの作成

通常の運用やメンテ用のユーザを作っておく。

SELinuxの設定の関係で、ここで再び再起動。
再起動後、管理者でログイン

▲ ▼

グラフィックカードの設定

- ビデオカードを、vesa に設定（認識したMGA G200eでは、画面下側にノイズが入るため）

- モニタ設定で、解像度を1024x768、色の深さを数千の色に設定
- 設定後、ログアウトすれば、1024x768で表示される。

▲ ▼

パッケージの更新

- 画面右上のバルーンヘルプをクリックすると、更新の画面になる
- とりあえず、言われるままに更新をする（かなり時間がかかる）